



2015年7月19日  
柏の葉アーバンデザインセンター

## 地域連携による新しい学びの場で教育課題に対応 柏の葉キャンパスに「未来こどもがっこう」が本日開校

～ 初年度である2015年度は3月まで毎月開催、30以上のカリキュラムを実施 ～

柏の葉アーバンデザインセンターは、2015年7月19日、千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域において、幼児～高校生を対象とする「未来こどもがっこう」を開校し、カリキュラム提供を開始します。

千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域は、2008年に千葉県・柏市・東京大学・千葉大学の4者により「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を策定し、行政、市民、企業、大学などが連携して課題解決型のまちづくりを進めてきました。同構想の目標の一つに「国際的な学術・教育・文化空間の形成」を掲げ、東京大学・千葉大学が立地する恵まれた環境を生かし、これまでも教育環境の充実に向けてさまざまな施策を実施してきました。

「未来こどもがっこう」は、そんな柏の葉キャンパスだからこそできる「新しい学びの場」を、同地域のまちづくりを推進する柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）を中心に、地域の関連団体と協力した実行委員会を組織して運営していきます。初年度となる本年度は2016年3月まで毎月カリキュラムを実施し、来年度以降も継続して開校します。

**「未来こどもがっこう」は、幼児～高校生を対象とする新しいがっこうです。  
大学教員や学生、アーティスト、住民やワーカーが講師となって、  
多彩な体験型カリキュラムを実施します。  
教室は柏の葉キャンパスですが、参加する“学生”は地域を問わず募集します。  
本年度開校し、来年度以降も地域のがっこうとして継続していく予定です。**

### ■「未来こどもがっこう」の特徴（詳細は次項以降に記載しています）

1. 変化する教育ニーズに対応する、柏の葉ならではの教育テーマ
2. 30以上のカリキュラムの大型プロジェクト。継続的な「学びのプラットフォーム」に
3. 8つの教室！地域のあらゆる場所が「学びの場」に
4. まちに関わる多彩な講師陣による魅力あるカリキュラム

### ■「未来こどもがっこう」実施概要・推進体制

主催：柏の葉アーバンデザインセンター

日程：2015年7月19日～2016年3月31日 ※初年度

参加方法：下記WEBサイトより申込（対象年齢はカリキュラムごとに異なります）

共催：三井不動産レジデンシャル株式会社、株式会社読売広告社

後援：柏市、柏市教育委員会

フェロー：村山 齊（東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長）  
古在 豊樹（千葉大学名誉教授）

協力：国立がん研究センター東病院、柏の葉総合歯科、まちの健康研究所「あ・し・た」、  
柏市立十余二小学校、柏市立柏の葉小学校  
オークビレッジ柏の葉、柏の葉サイエンスエデュケーションラボ、ベジエフ、  
えいごカフェ柏の葉、柏の葉リトミック教室「enfant」、エマジャンクラブ、  
三井不動産株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社

### ■「未来こどもがっこう」のお問合せ・参加申込先

未来こどもがっこう運営事務局 MAIL: mirai@udck.jp URL: <http://miraikodomogakko.com/>

## 1. 変化する教育ニーズに対応する、柏の葉ならではの教育テーマ

現在、政府は「教育立国」を掲げ、教育振興基本計画のもと、今後、様々な課題に直面する「社会を生き抜く力の養成」として、知識詰め込み偏重型から、思考力・判断力・表現力などを総合的に育成する教育への転換を目指しています。その「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、地域全体での学びの場が必要だと考えました。そこで、本プロジェクトでは、地域ぐるみの学びに実績を持つこのまちの特徴を生かし、大学教員や学生、まちに関わるアーティスト、住民やワーカーなどが講師を務める多彩な学習カリキュラムを用意しています。カリキュラム策定にあたって、柏の葉キャンパスの地域性を鑑み、5つのテーマを設定しました。

### 【 カリキュラム5つのテーマ 】

テーマ	柏の葉キャンパスの持つ資産
探求	東京大学、千葉大学などのアカデミック施設はもちろん、広大な敷地の柏の葉公園や、貴重な動植物の生息するこんぶくろ池自然博物公園に代表される自然環境まで、子どもの好奇心を刺激する多様な「探求の対象」を有しています。
先端	行政、企業、市民、大学の「公民学」が連携するまちづくりを進める柏の葉キャンパスでは、各者が連携した「実証実験」を多数実施し、世界の最先端といえる取り組みを行っています。
健康	予防医学の研究や、駅前には市民参加型のまちの健康研究所「あ・し・た」を設けるなど、高齢化社会への取り組みも実施しています。また、より身近な健康として「食」に着目し、地産池消のレストランの開設や駅前市場の定期開催も行っています。
創造	日本の経済活性化に向け、新産業創造の集積にも取り組んでいます。企業や研究機関を誘致するほか、新しいビジネスを生み出すためのコワーキングスペース「柏の葉オープンイノベーションラボ(KOIL)」の開設や、国際的なベンチャーアワードの開催などを行っています。
共創	柏の葉キャンパスのまちづくりの基礎として、まちに暮らす人が自らまちに参画し、自律的なエリアマネジメントを目指す方針があります。これまでも、多様なコミュニティ・プログラムを通じて、まちを共に創り上げる人材の育成に取り組んできました。

## 2. 30以上のカリキュラムの大型プロジェクト。継続的な「学びのプラットフォーム」に

「未来こどもがっこう」の初年度カリキュラムは、2016年3月までで30以上のカリキュラムを実施します。また、夏と秋にはそれぞれ“学校の文化祭”となるような特別イベントを予定しています。本年度は、参加する学生およびその保護者を合わせ、延べ1万人以上の参加を予定しています。

また、「未来こどもがっこう」は、来年度以降も開校する予定です。「未来こどもがっこう」は、常に地域に必要な学びの要素を検討し、まちに関わるさまざまな団体・個人との協働でカリキュラムを創り上げていきます。将来は柏の葉キャンパスの「学びのプラットフォーム」として成長させ、多様な教育プログラムを展開することを目標としています。

### 【 2015年度「未来こどもがっこう」開校日一覧（予定） 】

#### <2015年>

7月19日、20日、25日、26日。8月1日、2日、22日、23日。9月27日。10月24日、25日。  
11月3日、8日、23日、29日。12月6日。

#### <2016年>

1月27日。2月14日。3月13日。

### 3. 8つの教室！地域のあらゆる場所が「学びの場」に

まちのさまざまな施設・団体にご協力いただき、まちを舞台に学びの場を展開いたします。今後、地元の小学校と連携したプログラムも検討しております。



#### ① 千葉大学柏の葉キャンパス

東洋医学、環境健康科学、環境園芸学を主軸とするキャンパス。「環境・健康・食」をテーマに市民向け学習プログラム「カレッジリンクプログラム」も行っている。

#### ② ららぽーと柏の葉

スーパーマーケットや生活雑貨、グルメやファッション、クリニックなど約150ものショップが揃うまちのショッピングセンター。

#### ③ 柏の葉オープンイノベーションラボ（KOIL）

ベンチャー企業支援や、人の交流を通じた創造的なビジネスを生み出す拠点となるオフィス空間。3Dプリンタやレーザーカッターなど、最新のデジタルファブリケーション機材や電子工作ツールを完備。

#### ④ 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト

2014年に開設した、東京大学の新しいサテライトオフィス。大学と地域が連携して社会問題の解決を目指す組織、「東京大学フューチャーセンター推進機構」の拠点。

#### ⑤ 柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）

柏の葉キャンパス地域のまちづくりを推進する組織。まちに開かれたまちの方が自由に利用することのできる情報発信拠点としての役割も持つ。

#### ⑥ 柏の葉カンファレンスセンター

エネルギー管理、交流、そしてビジネスを加速するオフィス空間など、スマートシティの中心となる機能を一カ所に集約した複合施設「ゲートスクエア」内の施設。展示会や国際会議などを行う。

#### ⑦ オークビレッジ柏の葉

約3,000坪の広さで「体験型貸農園」や「農園レストラン」など、「食と農」を五感で楽しむためのさまざまな要素を持つ複合施設。

#### 4. まちに関わる多彩な講師陣による魅力あるカリキュラム

カリキュラム作りに協力するフェローとして東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構機構長の村山斉氏、千葉大学名誉教授の古在豊樹氏を迎えるほか、講師には柏の葉キャンパス地域に関わるさまざまな団体・個人が立場や職業にかかわらず参画し、まちの持つ「知」を集結させた取り組みです。

カリキュラムの詳細は、随時 WEB サイト (<http://miraikodomogakko.com/>) で公開していきます。

#### 【 講師の例 】

##### <大学教員>

- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 鈴木 宏二郎 | 東京大学教授 | 専門：空気の流れとものの形、大気圏突入、スペースプレーンや宇宙探査など    |
| 羽角 博康  | 東京大学教授 | 専門：海洋物理学、海流・気候シミュレーション                 |
| 木下 勇   | 千葉大学教授 | 専門：都市計画、まちづくり、農村計画、子どもの参画や環境学習のワークショップ |
| 野田 勝二  | 千葉大学助教 | 専門：果樹園芸、園芸のまちづくりや福祉への活用                |

##### <アーティスト>

- |         |  |
|---------|--|
| 岩谷 圭介   | エンジニアリングアーティスト。日本で初めて、個人での上空 30km からの宇宙撮影に成功   |
| 大平 貴之   | プラネタリウムクリエイター。1998 年に開発したプラネタリウム「MEGASTAR」が話題に |
| 島本 めぐみ  | 布小物作家。美大卒業後、伝統工芸の結城紬の修行を経て作家活動を始める             |
| 島本 直尚   | デザイナー、ウラハラ藝大校長                                 |
| 富岡 克朗   | グラフィックデザイナー                                    |
| 土橋 陽子   | 家具デザイナー。企業とチームを組み、企画から、デザイン、当日の講師まで一貫して行う      |
| 中山 晴奈   | フードデザイナー                                       |
| 南雲 麻衣   | ダンサー   |
| 森脇 裕之   | ライト・アーティスト/多摩美術大学情報デザイン学科准教授                   |
| 渡辺 圭介   | 次世代ものづくりプロデュース。3D プリンタなどファブリケーション技術の活用や開発を行う   |
| 横須賀 ヨシキ | デザイナー/アートディレクター                                |

##### <地域関連企業・団体・住民・学生・ワーカー>

- |        |   |
|--------|---|
| 大瀬 由生子 | 料理研究家、テーブルコーディネーター、フードコーディネーターなど食に関して幅広く活動    |
| 川浦 智子  | 料理研究家、ベジエフ                                    |
| 田中 可奈子 | 料理研究家・栄養士・食育指導士・国際薬膳食育師。「MAKIZUSHI 倶楽部」の巻寿司大使 |
| 久保 真二  | フォトグラファー                                      |
| 萩嶋 梨花  | Rika Piano Lesson Studio 代表                   |
| 羽村 太雅  | 東京大学学生を中心とする「柏の葉サイエンスエデュケーションラボ (KSEL)」2 代代表  |
| 伏見 遼平  | 東京大学工学部ゲームプログラマー                              |
| 山崎 毅朗  | 東京大学大学院総合文化研究科、専門は英語圏の現代哲学、哲学研究チーム P4E メンバー   |
| 和田 夏実  | 慶応義塾大学にてデザインとテクノロジーを学び、それぞれをつなぐ表現・ツールを研究。国際手話 |
| 南 佑依   | 東京藝術大学美術部、各種子ども向けワークショップを主催                   |
| 間下 知紀  | 電子プロダクト開発、プログラマー                              |
| 石原 怜   | 電子プロダクト開発、プログラマー                              |
| 松本 訓明  | 英会話サークル「えいごカフェ柏の葉」発起人、世界を駆け回る国際デザイナー          |
| 松本 和美  | 柏の葉リトミック教室「enfant」代表                          |
| 康本 征史  | 柏の葉総合歯科・小児歯科 院長                               |
| 和田 富美子 | 防災など非常時に備える「エマジャンクラブ」メンバー、ピノキオリーディングメンバー      |

※これらの講師の方以外にも、今後、継続していくことで街の多くの方を巻き込んでいく予定です。

**【 カリキュラムの例 】****■ 「伝える？ってなんだ！COMMUNICATE せよ！」講師：和田 夏実、南雲 麻衣**

[日 時] 2015年8月1日（土）10:00～12:00（第1回）、13:00～15:00（第2回）

[対 象] 第1回は小学校低学年（1～3年生）、第2回小学校高学年（4～6年生）・各回10名程度

[内 容] 私たちはいつも声の「言葉」を使って、人に想いを伝えています。しかし、世の中には言葉では切り取れない想いや考え、体験がたくさんあふれています。このカリキュラムでは、「言葉」ではない方法で、自分の想いを伝える新しいコミュニケーションを考えます。

**■ 「いろんな国の人たちと世界を旅しよう！～紙ひこうきでコミュニケーション～」講師：松本 訓明**

[日 時] 2015年9月27日（土）10:00～12:00（第1回）、13:00～15:00（第2回）

[対 象] 小学生 各回20名程度

[内 容] 柏の葉キャンパスで学ぶ留学生とともに、言葉を使わずコミュニケーションを取りながら、それぞれの国の紙ひこうきを一緒につくり、壁に打ち出した世界地図に向かって飛ばします。紙ひこうきがたどり着いた国をクローズアップし、街並みやその国の人々、文化を学んでいきます。各国の留学生との交流を通し、世界の多様性を感じ、その人たちとコミュニケーションをとる楽しさや重要性、そうしたコミュニケーションを取るための手段について学ぶカリキュラムです。

**<報道関係者お問い合わせ先>**

未来こどもがっこう広報事務局（プラップジャパン内）蛭川 TEL:03-4580-9104 MAIL:t-hirukawa@prap.co.jp